

# 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）策定のための調査

## 介護保険サービス提供事業者調査

### 調査についてのお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、平成 27 年 3 月に策定を予定しております「府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）」の基礎資料とするために、高齢者福祉全般の調査を実施します。

この調査は、府中市内で介護予防・居宅介護サービスを提供する事業者及び施設サービス提供事業者をお願いをさせていただき、実施するものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理するとともに、府中市個人情報の保護に関する条例に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成 25 年 10 月 府中市

#### 記入についてのお願い

1. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
2. ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
3. 質問によっては、○をつける選択肢の番号を「1つに○」、「いくつでも○」などと指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」をお選びいただいた場合には、お手数ですが（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
4. 質問によっては、ご回答いただく方が限られる場合がありますので、矢印（→）やことわり書きなど、次にご回答いただく質問番号への案内にご注意ください。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

**11月11日（月）までに**ご返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、次までお問い合わせください。

#### 【問合せ先】

府中市福祉保健部高齢者支援課地域支援係  
TEL 042-335-4011（直通）

# おしらせ

この調査の結果については、平成26年4月頃に府中市のホームページで公開する他、調査報告書を府中市役所高齢者支援課窓口などに設置いたします。ぜひ、ご覧ください。

## 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）策定までのスケジュール

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）策定は、この調査結果などを基礎資料とし、市民、学識経験者、団体などから構成された「府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進協議会」で検討を進めながら策定します。

平成26年3月	この調査も含めた調査報告書を取りまとめます。
平成26年4月頃	調査報告書を府中市のホームページで公開するとともに、各関係機関に設置します。
平成26年秋頃	計画についてパブリックコメントを実施します。 ここでいただいたご意見をもとに計画を再調整します。
平成27年3月	府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）を策定します。

なお、現計画（府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定（第5期））は、前回の皆さまにご回答いただいたアンケートを基礎資料として策定し、府中市役所高齢者支援課窓口や中央図書館などにてご覧いただけます。

また、以下の府中市のホームページ（<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>）でもご覧いただけます。

### ◆府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第5期）

府中市ホームページトップページ ⇒ 市政を身近に ⇒ 計画

⇒ 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第5期）

## 貴事業所についておたずねします

問1 貴事業所の所在地はどこですか。所在している地区名をお答えください。

(1つに○)

(N=119)

1. 第1地区	多磨町、朝日町、紅葉丘、白糸台1～3丁目、若松町、浅間町、緑町	16.8%
2. 第2地区	白糸台4～6丁目、押立町、小柳町、八幡町、清水が丘、是政	14.3%
3. 第3地区	天神町、幸町、府中町、寿町、晴見町、栄町、新町	16.8%
4. 第4地区	宮町、日吉町、矢崎町、南町、本町、宮西町、片町	16.8%
5. 第5地区	日鋼町、武蔵台、北山町、西原町、美好町1～2丁目、 本宿町3～4丁目、西府町3～4丁目、東芝町	10.1%
6. 第6地区	美好町3丁目、分梅町、住吉町、四谷、日新町、本宿町1～2丁目、 西府町1～2、5丁目	23.5%
無回答		1.7%

問2 活動状況についてお教えてください。

(N=119)

項目	回答欄			
① 組織形態 (1つに○)	1. 社会福祉法人	26.9%	6. JA・生協	0.8%
	2. 福祉公社・事業団	0.0%	7. 株式会社	37.0%
	3. 社団法人	0.8%	8. 有限会社	6.7%
	4. 財団法人	0.0%	9. NPO	5.0%
	5. 医療法人	16.8%	10. その他〔具体的に：	5.0%
			無回答	0.8%
② 事業所の種類 (1つに○)	1. 訪問介護	24.4%	14. 夜間対応型訪問介護	0.8%
	2. 通所介護	24.4%	15. 定期巡回・随時訪問型訪問介護看護	0.0%
	3. 訪問入浴介護	1.7%	16. 認知症対応型通所介護	5.0%
	4. 訪問看護	5.9%	17. 小規模多機能型居宅介護	1.7%
	5. 訪問リハビリテーション	0.0%	18. 複合型サービス	0.0%
	6. 通所リハビリテーション	4.2%	19. 認知症対応型共同生活介護	5.0%
	7. 居宅療養管理指導	0.0%	20. 地域密着型特定施設入居者生活介護	0.0%
	8. 住宅改修・福祉用具	2.5%	21. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0.0%
	9. 短期入所生活・療養介護	6.7%	22. 居宅介護支援	0.8%
	10. 特定施設入居者生活介護	4.2%	23. その他〔具体的に：	1.7%
	11. 介護老人福祉施設	5.0%	無回答	2.5%
	12. 介護老人保健施設	3.4%		
	13. 介護療養型医療施設	0.0%		
③ 併設する 事業所の種類 (あてはまるものすべて○)	1. 地域包括支援センター	22.7%	14. 介護療養型医療施設	0.0%
	2. 訪問介護	22.7%	15. 夜間対応型訪問介護	0.8%
	3. 通所介護	18.5%	16. 定期巡回・随時訪問型訪問介護看護	0.0%
	4. 訪問入浴介護	2.5%	17. 認知症対応型通所介護	10.1%
	5. 訪問看護	7.6%	18. 小規模多機能型居宅介護	0.8%
	6. 訪問リハビリテーション	6.7%	19. 複合型サービス	0.0%
	7. 通所リハビリテーション	8.4%	20. 認知症対応型共同生活介護	1.7%
	8. 居宅療養管理指導	0.8%	21. 地域密着型特定施設入居者生活介護	0.0%
	9. 住宅改修・福祉用具	0.0%	22. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0.0%
	10. 短期入所生活・療養介護	18.5%	23. 居宅介護支援	46.2%
	11. 特定施設入居者生活介護	3.4%	24. その他〔具体的に：	5.9%
	12. 介護老人福祉施設	15.1%	無回答	28.6%
	13. 介護老人保健施設	5.9%		

④ 職員・スタッフ の人数 ※非常勤は常勤 換算でご回答く ださい  (n=91)		常 勤	非常勤	
	介護支援専門員 うち 専 従 兼 務	平均 平均 平均	1.66 人 0.89 人 1.18 人	平均 平均 平均 1.01 人 0.14 人 0.13 人
事務管理者	平均	0.88 人	平均 0.24 人	
⑤ 職員の資格取得 の状況  (n=113)		常 勤	非常勤	
	介護福祉士	平均	5.88 人	平均 2.55 人
	ホームヘルパー	平均	3.14 人	平均 5.69 人
	社会福祉士	平均	0.33 人	平均 0.03 人
	精神保健福祉士	平均	0.08 人	平均 0.00 人
	医師・歯科医師	平均	0.09 人	平均 0.21 人
	保健師・看護師	平均	0.97 人	平均 1.15 人
	管理栄養士・栄養士	平均	0.33 人	平均 0.03 人
	薬剤師	平均	0.00 人	平均 0.04 人
	理学療法士	平均	0.37 人	平均 0.12 人
	作業療法士	平均	0.29 人	平均 0.08 人
	言語聴覚士	平均	0.07 人	平均 0.02 人
	歯科衛生士	平均	0.00 人	平均 0.04 人
	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師	平均	0.05 人	平均 0.07 人

## 今後の事業運営についておたずねします

【問3以降、最後まで、問2（2）で○を付けた事業所について回答して下さい】

問3 昨年度の事業の採算はいかがでしたか。お差支えなければお答えください。  
(1つに○)

(N=119)

1. 黒字	37.0%	4. その他	5.9%
2. 赤字	32.8%	〔具体的に：	〕
3. 損益なし	14.3%	無回答	10.1%

問4 貴事業所では、今後3年のうちに事業規模についてどのように考えますか。  
(1つに○)

(N=119)

1. 拡大予定	30.3%	3. 縮小予定	0.8%
2. 現状維持	50.4%	〔具体的に：	〕
		4. 検討中・わからない	16.0%
		無回答	2.5%

問5 昨年度1年間の職員の離職状況（退職や転職）をお教えてください。また、補充はどのようにしていますか。平成25年9月1日現在でお書きください。

- ※ 「非常勤」の方の平均在職年数は契約更新をした方、離職者数・離職率は、契約途うえで辞めた方の年数・人数を記入してください。
- ※ 「専門職員」は、介護支援専門員やヘルパーなど主な職種のみおたずねしています。
- ※ 「退職」とは、専業主婦（夫）となる場合のほか他産業への転職を含みます。
- ※ 「転職」とは、他の介護保険事業者や医療機関などへ移行することです。

(1) 専門職員の平均在職年数（主たる専門職のみ）

- ※ 資格取得していても、事業所内で当該業務に従事していない方は除きます。（ヘルパー資格をもっている施設の介護職をしている場合など）
- ※ 管理事務業務をしている方も除きます

	常勤		非常勤	
①介護支援専門員	(n=54)	平均 6.70年	(n=14)	平均 1.31年
②看護師	(n=44)	平均 4.27年	(n=51)	平均 3.35年
③福祉施設介護員	(n=46)	平均 5.52年	(n=48)	平均 3.52年
④ホームヘルパー	(n=43)	平均 3.68年	(n=49)	平均 3.18年
⑤理学療法士、作業療法士	(n=31)	平均 2.86年	(n=20)	平均 4.43年

(2) 昨年1年間の職員の離職状況

<離職者数及び離職率（事業所全体）>

	常勤		非常勤	
①離職者総数	(n=100)	平均 2.01人	(n=94)	平均 2.74人
②離職率	(n=76)	平均 11.72%	(n=75)	平均 15.90%

<離職した専門職員の退職者・転職者別平均在職年数（主たる専門職のみ）>

	退職者		転職者	
①介護支援専門員	(n=12)	平均 4.23年	(n=6)	平均 3.47年
②看護師	(n=17)	平均 3.31年	(n=17)	平均 2.98年
③施設介護職員	(n=35)	平均 2.44年	(n=27)	平均 3.26年
④ホームヘルパー	(n=27)	平均 2.23年	(n=21)	平均 1.76年
⑤理学療法士、作業療法士	(n=7)	平均 1.54年	(n=5)	平均 2.00年

(3) 補充策〔具体的に〕

## 地域密着型事業についておたずねします

**問6** 今後、参入予定の地域密着型事業はありますか。当てはまるものに○をつけてください。また、「参入意向がない」、または「検討中」の場合は、その理由と参入条件を下段の枠の中から選択してください。（いくつでも○及び選択）

(N=119)

事業名	参入意向の有無			検討中			参入意向無しの理由 (上段)※
	有	無	無回答	有	無	無回答	条件(下段)※
① 夜間対応型訪問介護	1.7%	68.1%	30.3%	1.7%	0.8%	97.5%	【理由】 2、7 【条件】 1、2、4
② 定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	2.5%	68.9%	28.6%	1.7%	0.8%	97.5%	【理由】 2、5 【条件】 1、2、4
③ 認知症対応型通所介護	8.4%	61.3%	30.3%	2.5%	1.7%	95.8%	【理由】 2、7 【条件】 1、2
④ 小規模多機能型居宅介護	4.2%	67.2%	28.6%	0.8%	2.5%	96.6%	【理由】 2、5 【条件】 1、2、3、5
⑤ 複合型サービス	0.8%	67.2%	31.9%	4.2%	0.8%	95.0%	【理由】 5、7 【条件】 1、2
⑥ 認知症対応型共同生活 介護	4.2%	65.5%	30.3%	2.5%	1.7%	95.8%	【理由】 2、7 【条件】 1、2、3
⑦ 地域密着型特定施設入居 者生活介護	0.0%	68.9%	31.1%	0.0%	1.7%	98.3%	【理由】 2、7 【条件】
⑧ 地域密着型介護老人福祉 施設入所者生活介護	1.7%	68.9%	29.4%	0.0%	1.7%	98.3%	【理由】 2、7 【条件】

※多いものの番号を記載



<b>【理由】</b> 1. 人件費が高い 2. 人材が不足 3. 家賃が高い 4. 地代が高い 5. 市場のニーズがわからない 6. 施設を開設する土地や建物に ついて情報が無い 7. その他〔                          〕 無回答	<b>【条件】</b> 1. 財政面の公的な支援 2. 人材面の公的な支援 3. 場の提供 4. 市場ニーズの情報提供 5. その他〔                          〕 無回答
--	--

## サービス提供における課題をおたずねします

問7 サービス提供で困難だったケースがありましたか。

(N=119)

- |            |            |       |
|------------|------------|-------|
| 1. ある（あった） | →問 7-1 へ進む | 79.8% |
| 2. ない      | →問 8 へ進む   | 19.3% |
| 無回答        |            | 0.8%  |

問7-1 問7で「1. ある」と答えた方におたずねします。どのようなケースですか。

(いくつでも〇)

(n=95)

- |                                    |       |
|------------------------------------|-------|
| 1. ひとり暮らしで親族と連絡が取りにくいケース           | 37.9% |
| 2. 認知症の症状が進行し急変する方のケース             | 38.9% |
| 3. 病識がなくサービスの拒否があるケース              | 34.7% |
| 4. 胃ろうなどの医療処置を受けているケース             | 17.9% |
| 5. ケアプランの内容について本人と家族からの理解が得られないケース | 20.0% |
| 6. ケアプランの内容について本人と家族の意見が合わないケース    | 16.8% |
| 7. 必要なサービスが不足していてサービスが受けられないケース    | 10.5% |
| 8. 家族に障害や精神疾患があるケース                | 41.1% |
| 9. 老老介護、認知介護などの世帯のケース              | 36.8% |
| 10. 虐待を受けている、またはその疑いのあるケース         | 23.2% |
| 11. 消費者被害や詐欺被害を受けている又はその疑いのあるケース   | 7.4%  |
| 12. 飲酒や喫煙など生活面で問題があるケース            | 25.3% |
| 13. 経済や住宅に困窮し生活支援が必要なケース           | 18.9% |
| 14. 利用料滞納者のケース                     | 31.6% |
| 15. 施設や病院から退所・退院したばかりのケース          | 12.6% |
| 16. ターミナルケアを受けているケース               | 13.7% |
| 17. その他〔具体的に： _____〕               | 15.8% |
| 無回答                                | 0.0%  |

問8 貴事業所だけでは対応が困難だったケースはどの程度ありますか。(1つに〇)

(N=119)

- |                                 |                |  |       |
|---------------------------------|----------------|--|-------|
| 1. 対応できないケースが多い(50人のうち5人以上)     | } →問 9 へ<br>進む |  | 1.7%  |
| 2. 対応できないケースが少しある(50人のうち2~4人程度) |                |  | 26.9% |
| 3. 対応できないケースが若干ある(50人のうち1人程度)   |                |  | 37.0% |
| 4. ほとんどない                       | → 問 11 へ進む     |  | 30.3% |
| 無回答                             |                |  | 4.2%  |

問9 困難だったケースは貴事業所ではどこかに相談しましたか。(いくつでも〇)

(n=78)

- |                               |       |
|-------------------------------|-------|
| 1. 事業所内で相談した                  | 70.5% |
| 2. 他事業所の介護支援専門員(ケアマネジャー)に相談した | 69.2% |
| 3. 地域包括支援センターに相談した            | 62.8% |
| 4. 高齢者支援課に相談した                | 32.1% |
| 5. その他〔具体的に： _____〕           | 12.8% |
| 6. 特に相談していない                  | 1.3%  |
| 無回答                           | 0.0%  |

問10 お差支えなければ、最も困難だったケースの内容をお教えてください。

**サービスの質の向上に向けた取組をおたずねします**

問11 日ごろ、居宅サービスを提供していくうえで、利用者からの信頼を得るためには何が必要か、お考えをお教えてください。(いくつでも〇)

(N=119)

1. 経営理念・ビジョンの確立	35.3%	7. マニュアルや手引書の整備	37.8%
2. 組織体制	42.0%	8. 利用者への対応	86.6%
3. 人材確保	75.6%	9. 他機関（他事業所など）との連携	50.4%
4. 人材育成（研修・学習会）	80.7%	10. 情報収集及び提供方法	40.3%
5. 法令順守の取組みなど （業務管理体制）	48.7%	11. 個人情報保護	36.1%
6. サービス内容の充実	63.9%	12. その他 無回答	5.0% 3.4%

【その他】具体的に

問12 居宅サービスを受けている利用者からサービスへの要望や意見などがありましたら、お書きください。

問13 現在、貴事業所では質の向上に対する取組をどのように行っていますか。  
(いくつでも〇)

(N=119)

1. 第三者評価の実施（サービス自己評価）	39.5%	9. 外部研修会への出席	61.3%
2. 専門家、コンサルタントの活用	9.2%	10. 人材の確保	42.0%
3. ISOなど品質管理に関する 認証取得	9.2%	11. スタッフの資格取得への支援	37.0%
4. 苦情事例などの活用・蓄積	51.3%	12. 事業者間の交流	37.8%
5. 事業所内での検討会	75.6%	13. 事業者連絡会への出席	48.7%
6. 内部研修の充実	71.4%	14. 利用者調査の実施	30.3%
7. OJTの充実	33.6%	15. 介護情報の公表	45.4%
8. 手引書の作成と見直し	43.7%	16. その他〔具体的に： 〕	2.5%
		無回答	1.7%

※「1. 第三者評価の実施」と答えなかった方は問14へ進む



問14 問13で「1. 第三者評価の実施」と答えなかった事業所におたずねします。  
 今後、第三者評価を実施する予定はありますか。(1つに○)  
 (n=70)

- |             |           |       |
|-------------|-----------|-------|
| 1. 実施の予定がある | →問15へ進む   | 17.1% |
| 2. 実施の予定はない | →問14-1へ進む | 72.9% |
| 無回答         |           | 10.0% |

問14-1 問14で「2. 実施の予定はない」と答えた事業所におたずねします。  
 その理由は次のうちどれですか。(1つに○)

- (n=51)
- |                         |       |
|-------------------------|-------|
| 1. 費用がかかりすぎるから          | 19.6% |
| 2. メリットがよくわからないから       | 25.5% |
| 3. 評価機関の選び方がわからないから     | 2.0%  |
| 4. サービスの改善に結びつくかわからないから | 3.9%  |
| 5. 業務が多忙なため             | 23.5% |
| 6. その他〔具体的に：            | 15.7% |
| 無回答                     | 9.8%  |

問15 人材を確保するためどのような取組を行っていますか。(いくつでも○)

(1) 現在の取組

- (N=119)
- |               |       |                    |       |
|---------------|-------|--------------------|-------|
| 1. 新規採用枠の拡大   | 41.2% | 9. 職員間の助け合い制度      | 8.4%  |
| 2. 中途採用枠の拡大   | 49.6% | 〔具体的に：             | 〕     |
| 3. 就業時間の見直し   | 10.1% | 10. 併設・系列事業所内で人員確保 | 32.8% |
| 4. 福利厚生 of 充実 | 18.5% | 11. 社外の協力体制の整備     | 5.0%  |
| 5. 賃金面の充実     | 28.6% | 12. 求人広告掲載         | 56.3% |
| 6. 研修会への参加支援  | 41.2% | 13. その他            | 10.9% |
| 7. 資格取得の支援    | 37.8% | 〔具体的に：             | 〕     |
| 8. 相談体制の充実    | 22.7% | 無回答                | 6.7%  |

(2) 今後の取組

- (N=119)
- |               |       |                    |       |
|---------------|-------|--------------------|-------|
| 1. 新規採用枠の拡大   | 33.6% | 9. 職員間の助け合い制度      | 7.6%  |
| 2. 中途採用枠の拡大   | 41.2% | 〔具体的に：             | 〕     |
| 3. 就業時間の見直し   | 7.6%  | 10. 併設・系列事業所内で人員確保 | 28.6% |
| 4. 福利厚生 of 充実 | 22.7% | 11. 社外の協力体制の整備     | 7.6%  |
| 5. 賃金面の充実     | 31.9% | 12. 求人広告掲載         | 47.9% |
| 6. 研修会への参加支援  | 32.8% | 13. その他            | 13.4% |
| 7. 資格取得の支援    | 32.8% | 〔具体的に：             | 〕     |
| 8. 相談体制の充実    | 29.4% | 無回答                | 11.8% |

問16 研修についておたずねします。

(1) 事業所内での講習会・研修は十分実施できていると思いますか。できていない場合は理由を具体的にお書きください。(1つに○)

(N=119)

1. 十分実施できている	19.3%
2. 十分ではないが実施できている	72.3%
3. ほとんど実施できていない〔理由：	〕 5.9%
4. その他〔具体的に：	〕 0.0%
無回答	2.5%

(2) 外部の研修や事例検討、勉強会について職員が積極的に参加できるよう支援していますか。できていない場合は理由を具体的にお書きください。

(1つに○)

(N=119)

1. 支援している	24.4%
2. 十分でないが支援している	69.7%
3. ほとんど支援していない	0.8%
〔理由：	〕
4. 支援したいができない	3.4%
〔理由：	〕
5. その他	0.0%
〔理由：	〕
無回答	1.7%

サービス利用者の在宅医療の必要性についておたずねします

問17 貴事業所がサービスを提供している利用者の中に、往診\*が必要と思われる方はいますか。(1つに○) (\*：患者さんの求めに応じて急変時に行う診療)

(N=119)

1. いる→〔	〕人	64.7%	2. いない	27.7%
(平均 8.22人)			無回答	7.6%

問18 貴事業所がサービスを提供している利用者の中に、訪問診療\*が必要と思われる方はいますか。(1つに○) (\*：通院の困難な患者さん宅に定期的に訪問して行う診療)

(N=119)

1. いる→〔	〕人	68.1%	2. いない	26.1%
(平均 8.61人)			無回答	5.9%

※問17と問18の両方で「2. いない」と答えた方は問20へ進む

問19 問17と問18のどちらか1つでも「1. いる」と答えた事業所におたずねします。貴事業所では、医療処置を必要としている方に往診や訪問診療が十分行われていると思いますか。（往診と訪問診療に分けてそれぞれ1つに○）

①往診（1つに○）

(n=86)

1. 十分行われている	22.1%	3. あまり行われていない	18.6%
2. ある程度行われている	46.5%	4. まったく行われていない	5.8%
		無回答	7.0%

② 訪問診療（1つに○）

(n=86)

1. 十分行われている	24.4%	3. あまり行われていない	12.8%
2. ある程度行われている	55.8%	4. まったく行われていない	2.3%
		無回答	4.7%

問19-1 問19の①と②のどちらか1つでも「3. あまり行われていない」または「4. まったく行われていない」と答えた事業所におたずねします。その理由は何ですか。具体的にお書きください。

問20 貴事業所がサービスを提供している利用者の中に、訪問看護や訪問歯科診療、訪問服薬管理指導が必要と思われる方はいますか。（ア～ウそれぞれ1つに○）

(N=119)

ア. 訪問看護が必要と思われる方

1. いる→〔 〕人	52.9%	2. いない	30.3%
(平均 8.93人)		無回答	16.8%

イ. 訪問歯科診療が必要と思われる方

1. いる→〔 〕人	52.9%	2. いない	29.4%
(平均 9.75人)		無回答	17.6%

ウ. 訪問服薬管理指導が必要と思われる方

1. いる→〔 〕人	42.9%	2. いない	38.7%
(平均 6.35人)		無回答	18.5%

問21 貴事業所では、専門職の立場からみて、市内で在宅療養している高齢者の急変時に医療機関へのスムーズな移行が行われているとお考えですか。（1つに○）

(N=119)

1. 行われていると思う	7.6%
2. ある程度行われていると思う	58.8%
3. あまり行われていないと思う	21.8%
4. まったく行われていないと思う	0.8%
無回答	10.9%

問22 貴事業所では、専門職の立場からみて、高齢者の在宅療養を進めていくうえで不足している機能は何だとお考えですか。（いくつでも○）

(N=119)

1. 訪問診療や往診をしてくれる診療所	53.8%
2. 訪問看護（訪問看護ステーション）	29.4%
3. 訪問・通所リハビリテーションなどリハビリテーション施設	15.1%
4. 介護老人福祉施設や介護老人保健施設などの介護保険施設	17.6%
5. 一人ひとりの状況に応じて関係者が連携して対応するチームケア	55.5%
6. その他〔具体的に： 〕	10.1%
無回答	11.8%

問23 貴事業所では、医療と在宅ケアの間で、どんなことに苦労していますか。具体的にお書きください。

問24 貴事業所では、医療関係機関（病院・診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、病院の地域連携室など）にどのようなことを期待しますか。具体的にお書きください。

## 認知症の介護支援についておたずねします

問25 貴事業所の利用者の中で、医師から認知症と診断されている方は何人いらっしゃいますか。1つに○をつけ、いる場合には人数を記入してください

(N=119)

〔認知症の診断を受けている人〕

1. いる→〔 〕人	93.3%	2. いない	0.8%
（平均 19.81人）		無回答	5.9%

〔認知症の診断は受けていないが、認定調査で認知症とされている人〕

1. いる→〔 〕人	53.8%	2. いない	29.4%
（平均 13.09人）		無回答	16.8%

問26 認知症の利用者の状況で、実際にあるのは次のどれですか。またそのうち、最も大変だったことはどれですか。(いくつでも○、最も大変だったことに◎)  
(N=119)

		最も大変 だったこと
1. 本人や家族が医療機関を受診しない	33.6%	2.5%
2. 本人の意思の確認が取れない	60.5%	13.4%
3. 家族が認知症であることを認めない	41.2%	8.4%
4. 薬の飲み間違えがあって、服薬管理ができない	52.1%	3.4%
5. サービスを利用してもらえない、サービス拒否がある	58.0%	12.6%
6. 認知症の症状が急変して緊急対応が必要になる	16.8%	4.2%
7. 認知症の症状のため適切なサービスが受けられない	27.7%	3.4%
8. 消費者被害に遭遇している	21.0%	0.0%
9. 虐待を受けている	16.0%	0.0%
10. 本人や家族間で介護の方針が食い違う	33.6%	4.2%
11. 身体疾患があり医療的な管理が難しい	21.8%	0.8%
12. その他〔具体的に：	7.6%	4.2%
無回答	5.9%	42.9%

問27 貴事業所では、通常医療機関やかかりつけ医とどのような方法で情報を交換していますか。(いくつでも○)

(N=119)

1. 電話	62.2%	6. サービス担当者会議	43.7%
2. ファックス	38.7%	7. 直接訪問	14.3%
3. 電子メール	2.5%	8. その他	18.5%
4. 診察への同行	24.4%	〔具体的に：	〕
5. 訪問診療への同席	16.0%	無回答	5.0%

問28 貴事業所では、認知症の人の支援にあたっては、かかりつけ医との連携はとれていると思いますか。(1つに○)

(N=119)

1. とれている	18.5%	3. あまりとれていない	31.9%
2. まあとれている	29.4%	4. とれていない	13.4%
		無回答	6.7%

問29 これから認知症の人の支援にあたり必要になると思うのは、次のどれですか。  
(3つに○)

(N=119)

1. 認知症の状態に応じた適切なサービス提供の流れが示されること	42.9%	
2. 認知症の人を支援する社会資源（施設、サービス）がより増えていくこと	56.3%	
3. 認知症の早期診断を担う医療機関が増えていくこと	26.1%	
4. 地域で、認知症サポーターの活動の輪が広がること	18.5%	
5. かかりつけ医やケアマネジャーの認知症に対する理解と対応力が向上すること	37.0%	
6. 地域包括支援センターにおける認知症の地域支援が充実していくこと	12.6%	
7. 地域ケア会議など専門的な支援体制が充実すること	17.6%	
8. 認知症初期集中支援チームなどがつくられ早期からアセスメントが行われること	13.4%	
9. 認知症の人や家族支援が充実していくこと	63.0%	
10. その他〔具体的に：	〕	3.4%
無回答		4.2%

## 医療・介護の連携についておたずねします

問30 貴事業所は、医療・介護の連携の必要性についてどのようにお考えですか。

(1つに〇)

(N=119)

1. 必要である	95.8%	2. 必要でない	0.8%	無回答	3.4%
----------	-------	----------	------	-----	------

問31 府中市民の在宅療養者への医療・介護は、サービス担当者会議などを通じて連携していると思いますか。(1つに〇)

(N=119)

1. 十分連携している	} →問 32 へ進む	5.0%
2. ある程度連携している	} →問 31-1 へ進む	55.5%
3. 連携が不十分である		27.7%
4. ほとんど連携していない		3.4%
無回答		8.4%

問31-1 問31で「3. 連携が不十分である」または「4. ほとんど連携していない」と答えた事業所におたずねします。そのように考える理由は何ですか。  
(いくつでも〇)

(n=37)

1. 医学知識や医療制度がわからない	32.4%
2. お互いに多忙で連絡がとれない	48.6%
3. 個人情報保護の観点から情報が共有されない	21.6%
4. 交流の場がない	81.1%
5. 誰と連絡をとればいいのかわからない	37.8%
6. 医療関係者の介護保険に関する知識や理解が不足している	54.1%
7. その他〔具体的に： 〕	16.2%
無回答	0.0%

問32 貴事業所では、退院前(時)カンファレンスに出席したことがありますか。

(1つに〇)

(N=119)

1. ある	→問 32-1 へ進む	65.5%
2. ない	→問 33 へ進む	28.6%
無回答		5.9%

問32-1 問32で「1. ある」と答えた事業所におたずねします。退院前(時)カンファレンスの頻度はどのような状況ですか。具体的にお書きください。

問33 貴事業所では、医療・介護の連携を図るうえで情報の共有化をどのように進めると良いとお考えですか。具体的にお書きください。

問34 貴事業所では、医療関係機関（病院・診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、病院の地域連携室など）との間で問題やトラブルが発生したことがありますか。（1つに〇）

(N=119)

- |       |             |       |
|-------|-------------|-------|
| 1. ある | →問 34-1 へ進む | 10.1% |
| 2. ない | →問 35 へ進む   | 82.4% |
| 無回答   |             | 7.6%  |

問 34-1 問 34 で「1. ある」と答えた事業所におたずねします。どのような問題やトラブルの発生を経験しましたか。具体的にお書きください。

問35 貴事業所が関わるサービス利用者の情報について、次の関係機関、職種への連絡状況をお答えください。（①～⑬それぞれ1つに〇）

(N=119)

	ほとんどいない	あまりとっていない	ある程度とっている	よくつうてらる	無回答
①病院	37.8%	23.5%	18.5%	10.9%	9.2%
②サービス利用者のかかりつけ医	29.4%	19.3%	31.9%	12.6%	6.7%
③サービス利用者に必要と考えられる診療科の医師	37.8%	20.2%	26.1%	9.2%	6.7%
④歯科医師	50.4%	19.3%	11.8%	10.1%	8.4%
⑤薬剤師	49.6%	20.2%	13.4%	8.4%	8.4%
⑥病院の地域連携室（医療ソーシャルワーカー）	33.6%	29.4%	15.1%	11.8%	10.1%
⑦地域包括支援センター	8.4%	12.6%	39.5%	30.3%	9.2%
⑧訪問看護ステーション	17.6%	23.5%	34.5%	8.4%	16.0%
⑨ケアマネジャー	0.8%	0.8%	14.3%	75.6%	8.4%
⑩ホームヘルパー	12.6%	13.4%	31.9%	26.1%	16.0%
⑪通所介護（デイサービス）	21.0%	26.1%	26.9%	9.2%	16.8%
⑫訪問・通所リハビリテーション	25.2%	29.4%	26.1%	3.4%	16.0%
⑬短期入所生活介護（ショートステイ）	28.6%	26.1%	19.3%	9.2%	16.8%

問36 貴事業所では、サービス利用者の医学的な情報を十分把握していますか。

(1つに○)

(N=119)

- |                |       |
|----------------|-------|
| 1. 十分把握している    | 25.2% |
| 2. ある程度把握している  | 67.2% |
| 3. あまり把握していない  | 5.0%  |
| 4. ほとんど把握していない | 0.0%  |
| 無回答            | 2.5%  |

問37 一般に医療機関やかかりつけ医（主治医）などとの連携がとりにくいと言われていますが、その主な理由をどのようにお考えですか。（1つに○）

(N=119)

- |                                 |    |       |
|---------------------------------|----|-------|
| 1. 医療機関やかかりつけ医（主治医）が多忙で、理解が得にくい | ため | 52.9% |
| 2. 医療側に体制が整っていない                |    | 12.6% |
| 3. 連携のとり方がわからない                 |    | 7.6%  |
| 4. 連携の必要性を感じない                  |    | 0.8%  |
| 5. その他〔具体的に：                    | 〕  | 16.0% |
| 無回答                             |    | 10.1% |

問38 貴事業所では、医療・介護の連携を図るためにどのようなことが必要だとお考えですか。（3つまでに○）

(N=119)

- |   |       |      |
|---|-------|------|
| 1. 医師・歯科医師がケアマネジャーの相談を受け付ける時間<br>「ケアマネタイム」を充実する | 44.5% |      |
| 2. 在宅療養者の情報を共有するための統一フォーマットを作成する                | 47.1% |      |
| 3. 医療・介護の連携マニュアルを作成する                           | 34.5% |      |
| 4. 医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場を確保する                 | 40.3% |      |
| 5. 在宅療養者の緊急時用のベッドを確保する                          | 12.6% |      |
| 6. 関係者のためのネットうえで連絡がとれるような仕組みを構築する               | 23.5% |      |
| 7. 医療（病院・診療所）と介護の役割分担を明確にする                     | 26.9% |      |
| 8. その他〔具体的に：                                    | 〕     | 5.9% |
| 無回答   |       | 5.0% |

### 災害時の体制についておたずねします

問39 大規模災害が発生した際の要援護者の支援について、計画や方針はありますか。

(1つに○)

(N=119)

- |                      |       |
|----------------------|-------|
| 1. 計画や方針がある          | 53.8% |
| 2. 今後策定する予定である       | 37.8% |
| 3. 計画や方針はないし、策定予定もない | 2.5%  |
| 無回答                  | 5.9%  |



問40 大規模災害が発生したときに、要援護者に対するサービスを早期に再開し、継続的に提供するためのマニュアルやガイドラインなどがありますか。

(1つに○)

(N=119)

- |                             |       |
|-----------------------------|-------|
| 1. マニュアルやガイドラインがある          | 42.9% |
| 2. 今後策定する予定である              | 51.3% |
| 3. マニュアルやガイドラインはないし、策定予定もない | 3.4%  |
| 無回答                         | 2.5%  |

問41 貴事業所では大規模災害に備えて、どのようなものを、備蓄していますか。備蓄しているものに○をつけてください。(いくつでも○)

また、それ以外に備蓄品がある場合、その内容などを備考欄にお書きください。

(N=119)

(1) 食糧

- |                        |       |
|------------------------|-------|
| 1. 主食(米、パンなど)          | 52.1% |
| 2. 副食<br>(かん詰め、レトルトなど) | 45.4% |
| 3. 飲料水                 | 63.9% |
| 4. その他<br>〔具体的に: 〕     | 4.2%  |
| 無回答                    | 29.4% |

(2) 生活用品

- |                    |       |
|--------------------|-------|
| 1. 毛布              | 44.5% |
| 2. 簡易トイレ           | 18.5% |
| 3. その他<br>〔具体的に: 〕 | 6.7%  |
| 無回答                | 47.9% |

(3) 高齢者用品

- |                        |       |
|------------------------|-------|
| 1. 成人用おむつ              | 71.4% |
| 2. 配慮食(おかゆなど)          | 27.7% |
| 3. 介護食(栄養食など)          | 22.7% |
| 4. 成人病対応食              | 0.8%  |
| 5. アレルギー対応食            | 0.8%  |
| 6. ストーマ用装具             | 2.5%  |
| 7. 気管孔エプロン<br>・酸素ボンベなど | 4.2%  |
| 8. その他<br>〔具体的に: 〕     | 3.4%  |
| 無回答                    | 24.4% |

(4) 介護・医療用品

- |                    |       |
|--------------------|-------|
| 1. 車いす             | 64.7% |
| 2. 杖               | 38.7% |
| 3. 歩行器             | 33.6% |
| 4. 簡易ベッド           | 18.5% |
| 5. ポータブルトイレ        | 35.3% |
| 6. 簡易スロープ          | 5.0%  |
| 7. 医薬品             | 31.1% |
| 8. その他<br>〔具体的に: 〕 | 1.7%  |
| 無回答                | 26.9% |

(5) 情報用品

- |                    |       |
|--------------------|-------|
| 1. 携帯用ラジオ          | 50.4% |
| 2. 拡大鏡             | 10.1% |
| 3. その他<br>〔具体的に: 〕 | 3.4%  |
| 無回答                | 47.9% |

(備考欄)

問42 貴事業所は、府中市の福祉避難所の指定を受けていますか。(1つに○)

(N=119)

- |          |       |           |       |
|----------|-------|-----------|-------|
| 1. 受けている | 10.9% | 2. 受けていない | 83.2% |
|          |       | 無回答       | 5.9%  |

問43 貴事業所では、災害時に備えて、どの程度、地域と連携していますか。

(いくつでも○)

(N=119)

- |   |       |
|---|-------|
| 1. 町内会・自治会と防災協定を結んでいる                   | 18.5% |
| 2. 町内会・自治会と合同で避難訓練を行っている                | 15.1% |
| 3. 介護保険や認知症高齢者などについてリーフレットを作成し地域に配布している | 16.8% |
| 4. 地域のまつりや行事に参加している                     | 40.3% |
| 5. 事業所内の行事への参加を地域にPRしている                | 35.3% |
| 6. その他〔具体的に：〕                           | 10.1% |

無回答

31.9%

府中市への意向についておたずねします

問44 今後、保険者としての府中市に対して、事業者として望むことは次のうちどれですか。(3つまで○)

(N=119)

- |                                |       |
|--------------------------------|-------|
| 1. 介護保険に関する情報提供、研修の実施          | 60.5% |
| 2. 質の向上のために事業者が行う研修への支援        | 41.2% |
| 3. 不正な事業所への指導                  | 4.2%  |
| 4. 利用者への適正なサービス利用の啓発           | 35.3% |
| 5. 地域包括支援センター機能の充実             | 22.7% |
| 6. 府中市と事業者間の情報交換や連絡調整を行う連絡会の開催 | 39.5% |
| 7. 制度運営における保険者判断部分の周知          | 37.8% |
| 8. その他〔具体的に：〕                  | 0.8%  |

- |         |      |
|---------|------|
| 9. 特にない | 1.7% |
| 無回答     | 4.2% |

問45 「介護保険制度」全体をよりよくするための環境整備として、府中市が力を入れるべきことは次のうちどれだと思いますか。(3つまで〇)

(N=119)

1. サービス事業者の質を高めること	17.6%
2. ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること	27.7%
3. 府中市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設を増やすこと	8.4%
4. サービス利用料を補助するなど利用者の費用負担を軽減する 経済的給付を増やすこと	21.0%
5. 介護支援ボランティアポイント制 <sup>(※)</sup> などの新しい仕組みを考えること	14.3%
6. 介護保険についての市民向けの勉強会などを実施すること	16.0%
7. 寝たきりにならないよう、介護予防のサービスに力を入れること	15.1%
8. 高齢期に住み続けられる、住まいの施策を充実すること	22.7%
9. 地域全体で介護を支援する仕組みづくりを行うこと	27.7%
10. 身近な地域で介護保険サービスが受けられる拠点を増やすこと	4.2%
11. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やすこと	13.4%
12. 家族介護の負担を軽減する支援策を充実すること	22.7%
13. 地域包括支援センターの機能を充実すること	10.9%
14. 介護保険サービスをカバーする府中市の高齢者保健福祉サービスを充実すること	26.1%
15. 介護保険制度を使いやすいものにすること	21.0%
16. その他〔具体的に： 〕	5.9%
17. わからない	0.8%
無回答	4.2%

※介護支援ボランティアポイント制：介護支援に関わるボランティアを行った高齢者に対し、実績に応じ換金可能なポイントを付与し、介護保険料を実質的に軽減しようとする試み

問46 その他、介護保険に関するご要望について、ご自由にお書きください。

——ご協力ありがとうございました——